

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025	年	8	月	29	日
ことばと読み書きの相談室ちゃっと	利用児童数	11名	令和7年7月1日	回収数	6		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			一斉指示の中では見取りにくい児童の様子や具体的支援内容を授業後に分かりやすく説明してもらえた。支援後のフィードバックで対象児の発達上の課題や特性について具体的で、普段の学習支援や対応の参考になっている。	支援後に対象児の様子や課題を具体的に伝える取組を継続します。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			専門の資格をもった方が検査・指導して下さることにより、より具体的・客観的な対象児の背景を知ることができ、合理的配慮へ繋げやすい。	支援員の知識・技術の向上を目指して研修等を実施し、科学的根拠に基づいた支援を目指す。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6			対象児童はもとより、学級担任に対しても親切丁寧に話して下さるので安心感がある。共通理解が早々にできるので助かっている。	担任や職員に対し丁寧に親切な対応を継続し、安心して相談できる体制を維持します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2		対象児が一斉授業の中で直面する困難さ担任の指導や対応の不確かさ、保護者の不安感などすべてにおいて軽減された。対象児童の欠席が多かったため、2学期に出席状況が改善してから協力して課題の改善に臨みたい。少しずつ変改して対象児童の成長と共に「はい」になるかと思います。	訪問先施設の先生方とは「一方的に指導する」というよりも「ともに考える」という姿勢で向き合い、課題や困りごとの解消に向けた関わりを継続していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6			計画→実施→振り返り、情報交換がスムーズに行えて大変満足している。対象児の不安感が軽減されたことが大変嬉しい。児童・保護者どちらも前向きに対応してもらえるようになった。	地域から頼られる保育所等訪問支援事業所になれるように引き続き研鑽を積んでいきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
学校現場において「インクルーシブ教育」「合理的配慮」など時代と共に求められる多様な学びの必要性を理解しつつも一人一人が必要としている多様な特性を持つ子どもたちを担任一人に対応するには厳しい現実がある。そんな中、保育所等訪問支援を学級の児童が利用し、支援が実施され学級の中において「共に学ぶ」ということが「同じことをする」とは少し違うその子の「苦手な事」「簡単ではないこと」への配慮や対応について学ばせていただいている。また、それが配慮を必要とする他児童への指導にも活かされ今後は更に教育の現場に療育が繋がりと、子どもたちの成長発達を共に協力しあえる制度の発展を現場の教諭の一人として願っている。小さな学級・学校から社会に広がった子育て支援の実現を。					担任一人では対応が難しい多様な特性を持つ児童への支援に対し、訪問支援員が具体的な助言や指導を行うことで、担任の負担を軽減し、安心して授業運営ができるよう努めます。また、対象児への支援を通して得られた工夫や配慮は、他児童への指導にも応用できるよう共有し、学級全体の学びを支えることにつなげます。さらに、教育と療育の双方の専門性をつなぐ役割を果たし、学校現場と協働しながらインクルーシブ教育を推進します。こうした実践を積み重ねることと、制度の発展に寄与し、地域全体で子どもの成長を支え合う仕組みづくりを目指します。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばと読み書きの相談室ちゃっと			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階に応じた個別支援を重点的に実施できている。	具体的な支援プログラムを実施することに先だって、各種検査や観察の結果をもとに客観的な分析を行い、科学的な根拠に基づいた支援を行っている。	高学年に対する評価スキルの向上に向けて、事業所内外の研修受講を行う。
2	子育てをサポートの視点で、保護者支援を実施できている。	保護者にもできるだけ支援に参加もしくは見学してもらい、実際の支援内容を説明しながら共有している。	諸々の事情で支援に同席できない保護者に対する子育てサポートを充実させる施策を講じていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスに対応していない。	出来るだけ施設内での支援に重み付けをしたいので、職員を送迎要員として配置することが難しい。	子育ては、子どもと保護者が中心にあるとの考えから、できるだけ、個別支援には保護者も参加して頂く方針を取っている。
2	児童を含めた防災訓練等が実施できていない。	個別支援の中に防災訓練等についての計画が入れ込まれていない。	保護者への説明を丁寧に行い、個別支援の中に防災訓練が入る可能性がある旨を説明し、適宜実施していく。
3	地域の保育園等との交流の機会を設けられていない。	近隣保育園等とイベントを協働して企画する体制が整っていない。	地域の保育園等へ働きかけを行う。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばと読み書きの相談室ちゃっと			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達段階に応じた個別支援を重点的に実施できている。	具体的な支援プログラムを実施することに先だって、各種検査や観察の結果をもとに客観的な分析を行い、科学的な根拠に基づいた支援を行っている。	高学年に対する評価スキルの向上に向けて、事業所内外の研修受講を行う。
2	子育てをサポートの視点で、保護者支援を実施できている。	保護者にもできるだけ支援に参加もしくは見学してもらい、実際の支援内容を説明しながら共有している。	諸々の事情で支援に同席できない保護者に対する子育てサポートを充実させる施策を講じていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスに対応していない。	出来るだけ施設内での支援に重み付けをしたいので、職員を送迎要員として配置することが難しい。	子育ては、子どもと保護者が中心にあるとの考えから、できるだけ、個別支援には保護者も参加して頂く方針を取っている。
2	児童を含めた防災訓練等が実施できていない。	個別支援の中に防災訓練等についての計画が入れ込まれていない。	保護者への説明を丁寧に行い、個別支援の中に防災訓練が入る可能性がある旨を説明し、適宜実施していく。
3	地域の児童クラブ等との交流の機会を設けられていない。	近隣の児童クラブ等とイベントを協働して企画する体制が整っていない。	近隣の児童クラブ等へ働きかけを行う。